

種
貞
画



廿四編下

諱

非難曲の心

柳文

1178
48

白

遊
九
輯



廿四編上

1178
47





御色
九輯

白

廿四編上

13
1178
47

1178
47



白縫物語 第十四篇
上集種員作國貞画

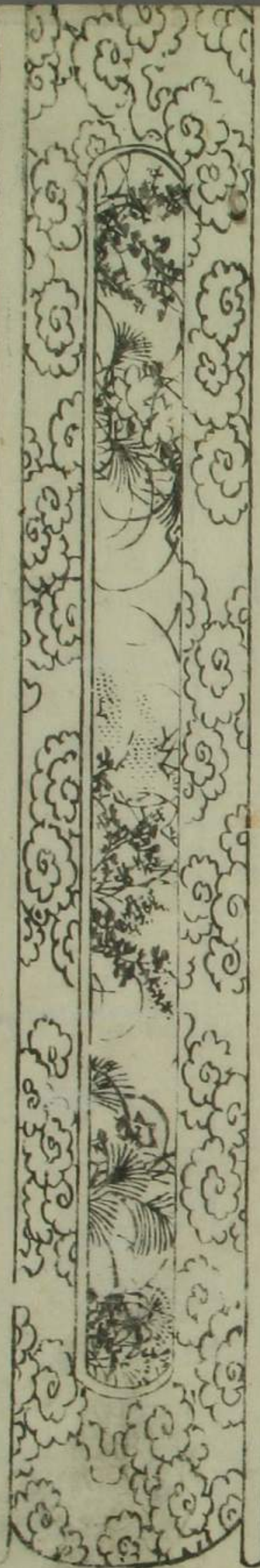
柳下亭壽梓

諸凡釋史不用國ハ五畿内々山城大和攝津ともハ三ヶ國東海道が
伊勢國ハ遙隔て相模武藏東山道が近江々々山陽道ハ播磨名々々々
其他ハ假令あれがて邂逅のてならん唐山の小説も亦然也思惟ハ先哲も
名の通ぬ國ハあはれ東ハ普通人の知國ハして作りの致此不知火ハ野乘ふあはれ
ほろつぬ西海道の名が一向多分はつてはと東背とて山陰道へこれら
踏込伯耆但馬出雲隠岐華小中各々北陸道能登や若狭の方へも至らん
先當卷ハわあ身山鳥の尾と詠トむハ一人唐朝臣の旧蹟なる岩見國
高角の辺まで説くものなりとなくハハハ手習童達の手本ハ讀唱
國ハといふものめは清書なるで發見草紙も一段見事の懐いあて拙著
賤不評のそなやろる

柳下亭種員記

あはれ

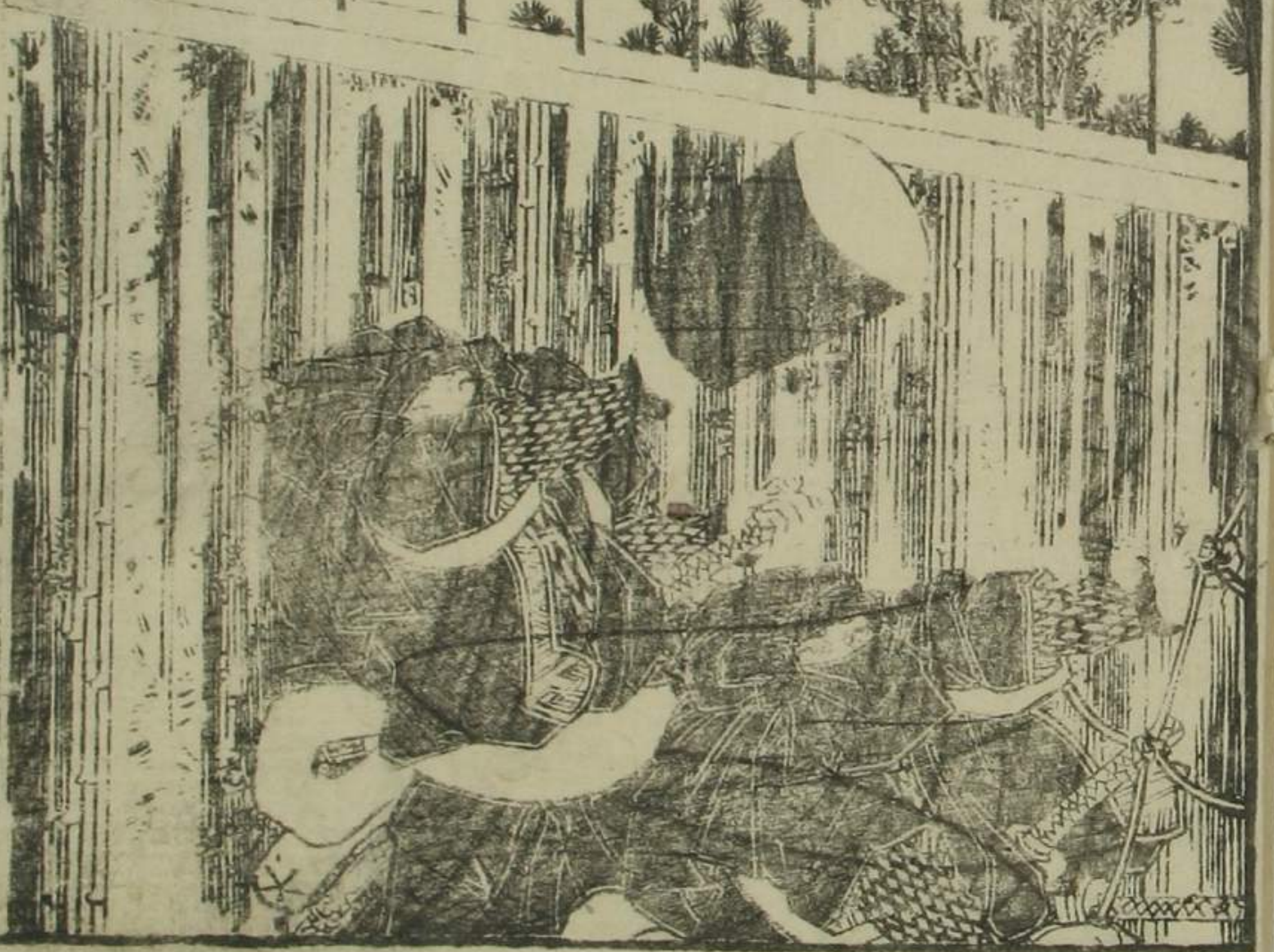






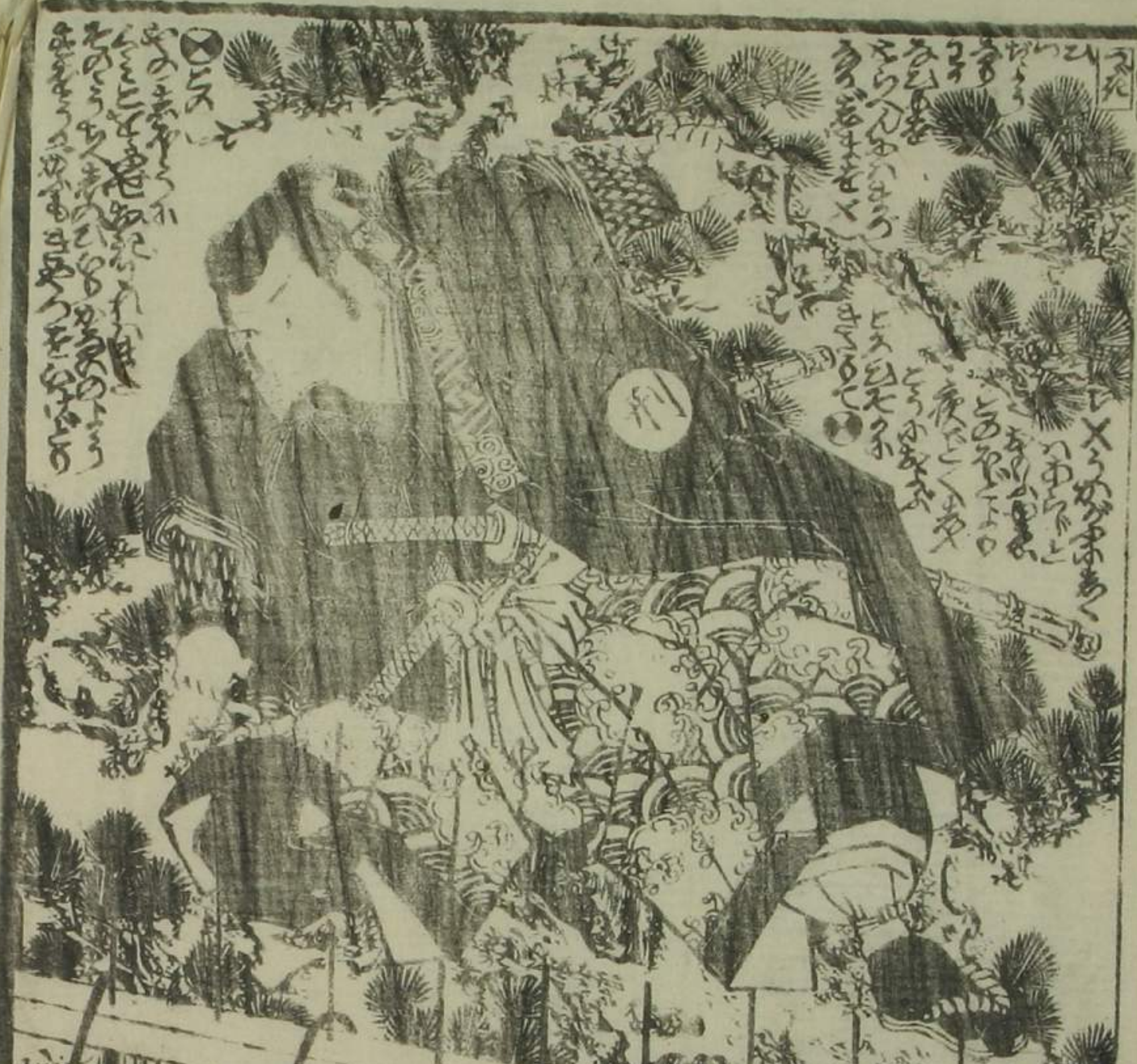
八十四





いひのハナロ

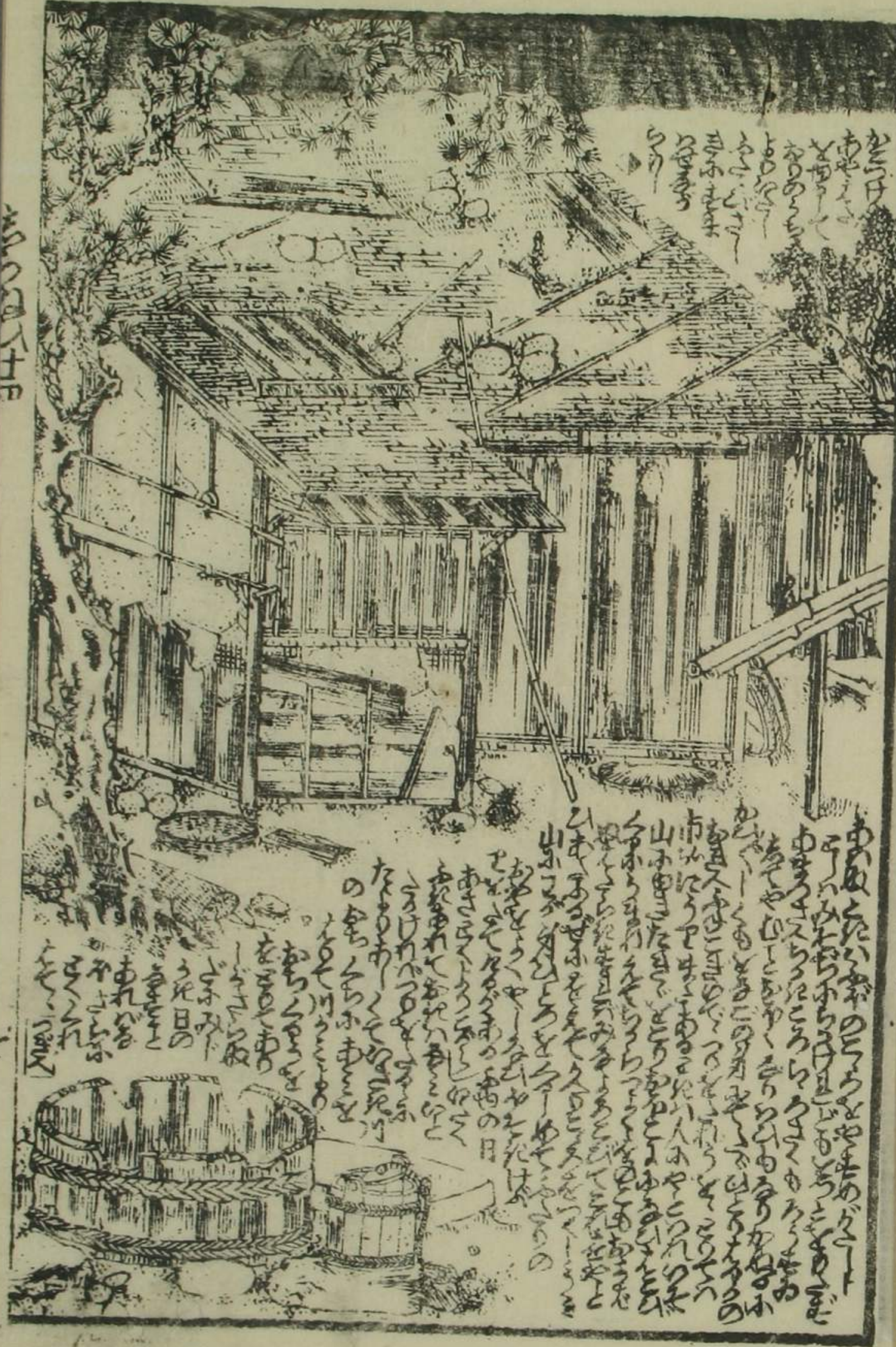
5



いひのハナロ

いひのハナロ

5



卯辰ノ八十一

あはれ
 あらう
 おもひ
 あはれ
 あらう
 おもひ
 あはれ
 あらう
 おもひ

あはれ
 あらう
 おもひ
 あはれ
 あらう
 おもひ
 あはれ
 あらう
 おもひ
 あはれ
 あらう
 おもひ

あはれ
 あらう
 おもひ
 あはれ
 あらう
 おもひ
 あはれ
 あらう
 おもひ



卯辰ノ七十四

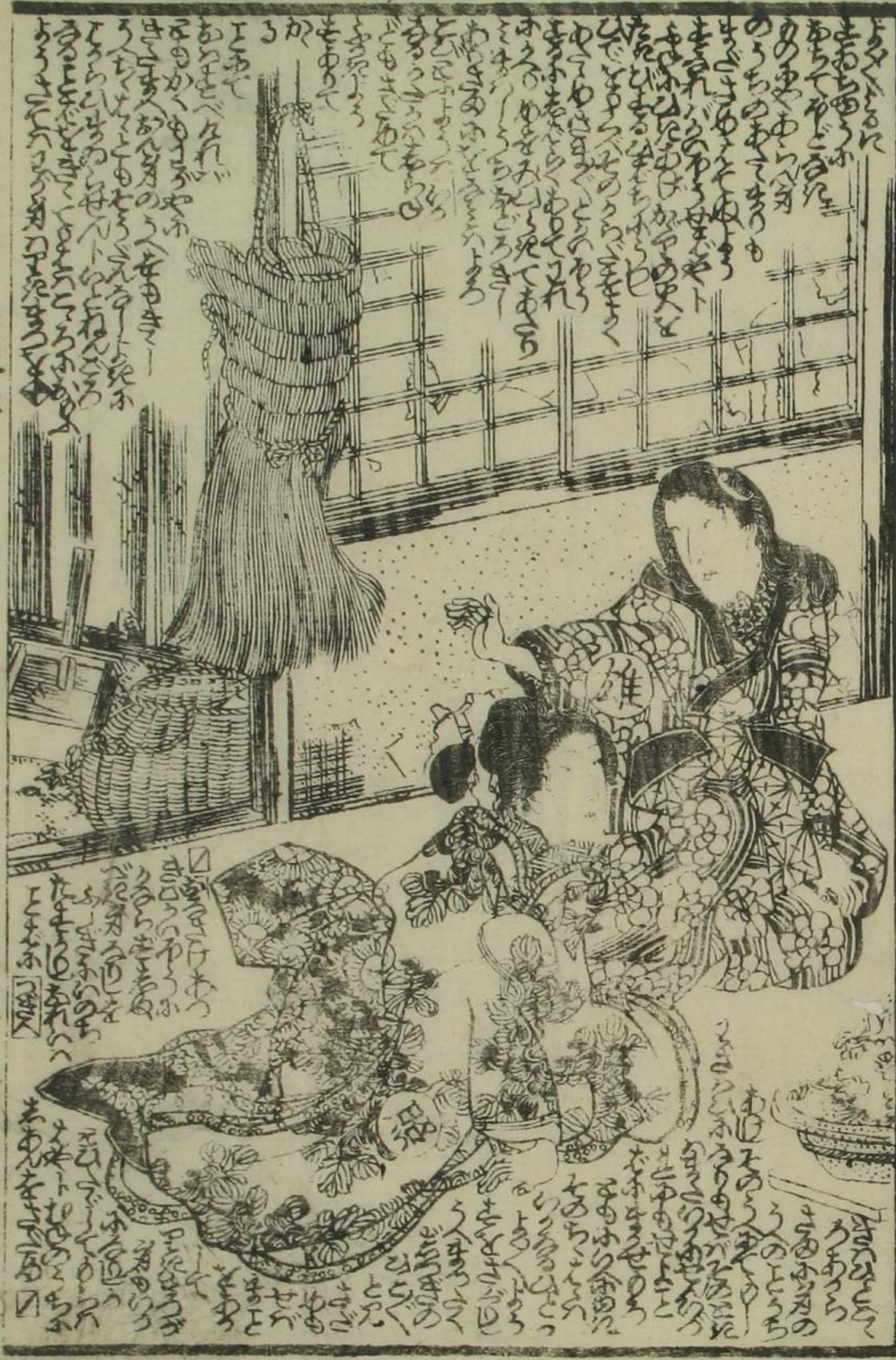
卯辰ノ七十四

あはれ
 あらう
 おもひ
 あはれ
 あらう
 おもひ
 あはれ
 あらう
 おもひ
 あはれ
 あらう
 おもひ

あはれ
 あらう
 おもひ
 あはれ
 あらう
 おもひ
 あはれ
 あらう
 おもひ

あはれ
 あらう
 おもひ
 あはれ
 あらう
 おもひ
 あはれ
 あらう
 おもひ
 あはれ
 あらう
 おもひ

あはれ
 あらう
 おもひ
 あはれ
 あらう
 おもひ
 あはれ
 あらう
 おもひ



あつたし

あつたし

あつたし

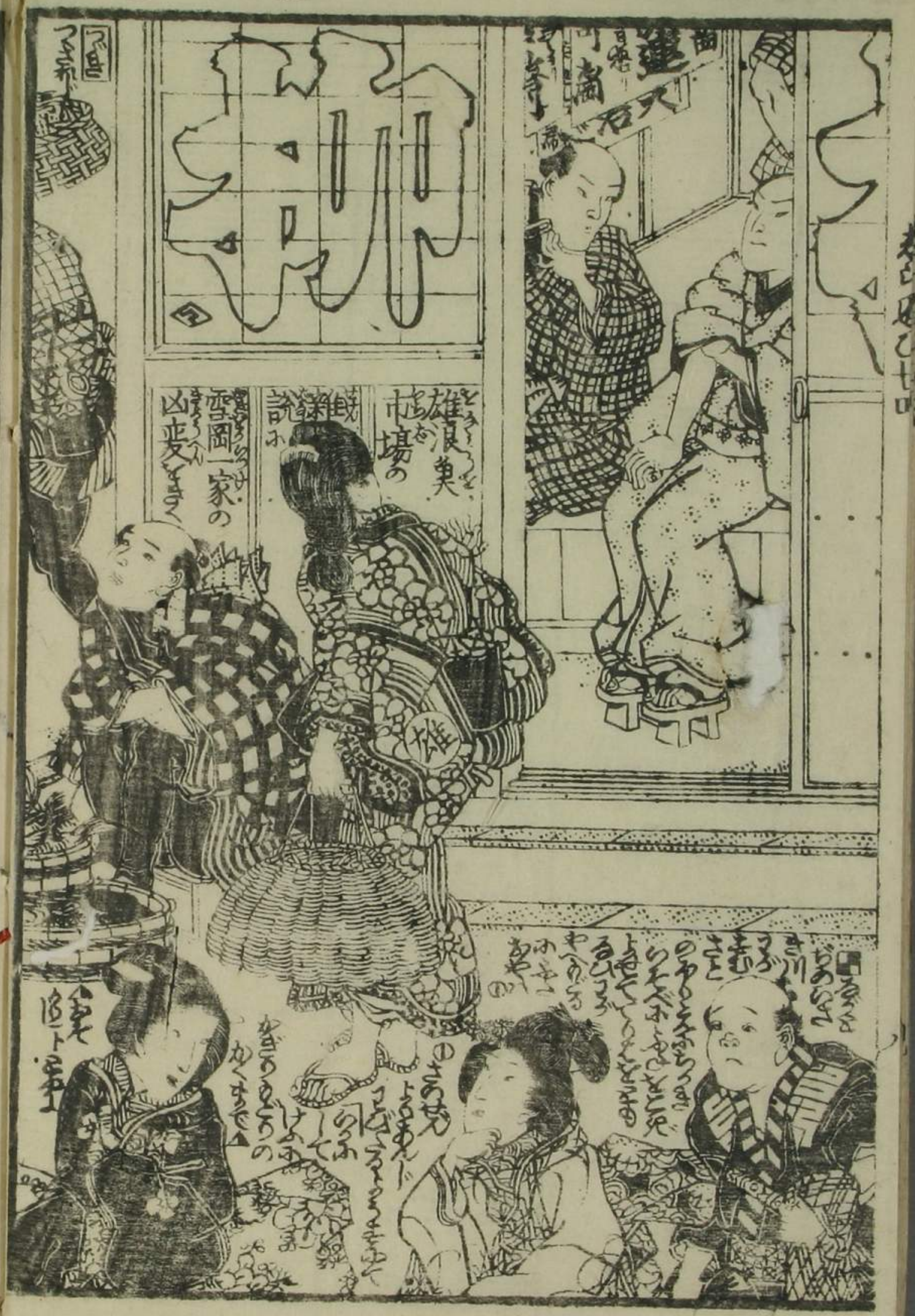
あつたし

あつたし





この入十四



この入十七

雄浪美
市場の

香園一家の
凶変

雄浪美
市場の
香園一家の
凶変

雄浪美
市場の
香園一家の
凶変

Handwritten text in a cursive script, likely Japanese, surrounding the illustration. The text is arranged in vertical columns, with some lines crossing the illustration's boundaries. It appears to be a commentary or a list of items related to the scene depicted.



Handwritten text in a cursive script, likely Japanese, surrounding the illustration. The text is arranged in vertical columns, with some lines crossing the illustration's boundaries. It appears to be a commentary or a list of items related to the scene depicted.





種員作圖貞画

志のぬい

女山編の柳 種彦作
幸編三 一恵 吉方 茂連

兩面織花田物語

初編 日
五編 日
川編 日

假名續八大傳

千編 假名 延善 文録
二五編 朝霞 櫻 方 芳 至

古今 似顔大全

故書 國 羽 筆
大錦 日 二番 傳

太平記英勇傳

中 錦 山々 亭 有人 記
百番 續 魚 齋 芳 英 圖



譚

種
貞
画



非
尋
曲
立
冠
包

廿
四
編
下

柳
下
文
在

13

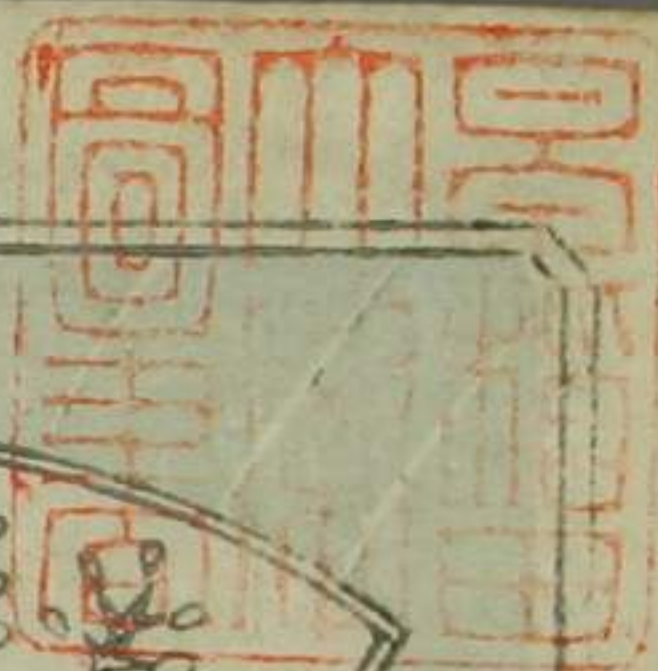
1178

48



老の廿田

十一



1178
48

繪巻化

國貞

重

第廿四編

下冊

(大)

(吉)



し

なほ

うら

柳下

子

つら

き





ついでに廿四



ついでに廿五

雪の国にありては
雪の国にありては
雪の国にありては
雪の国にありては



雪の国の
雪の国の
雪の国の
雪の国の



雪の国の
雪の国の
雪の国の
雪の国の



雪の国の
雪の国の
雪の国の
雪の国の

雪の国の
雪の国の
雪の国の
雪の国の

雪の国の
雪の国の
雪の国の
雪の国の





八十四



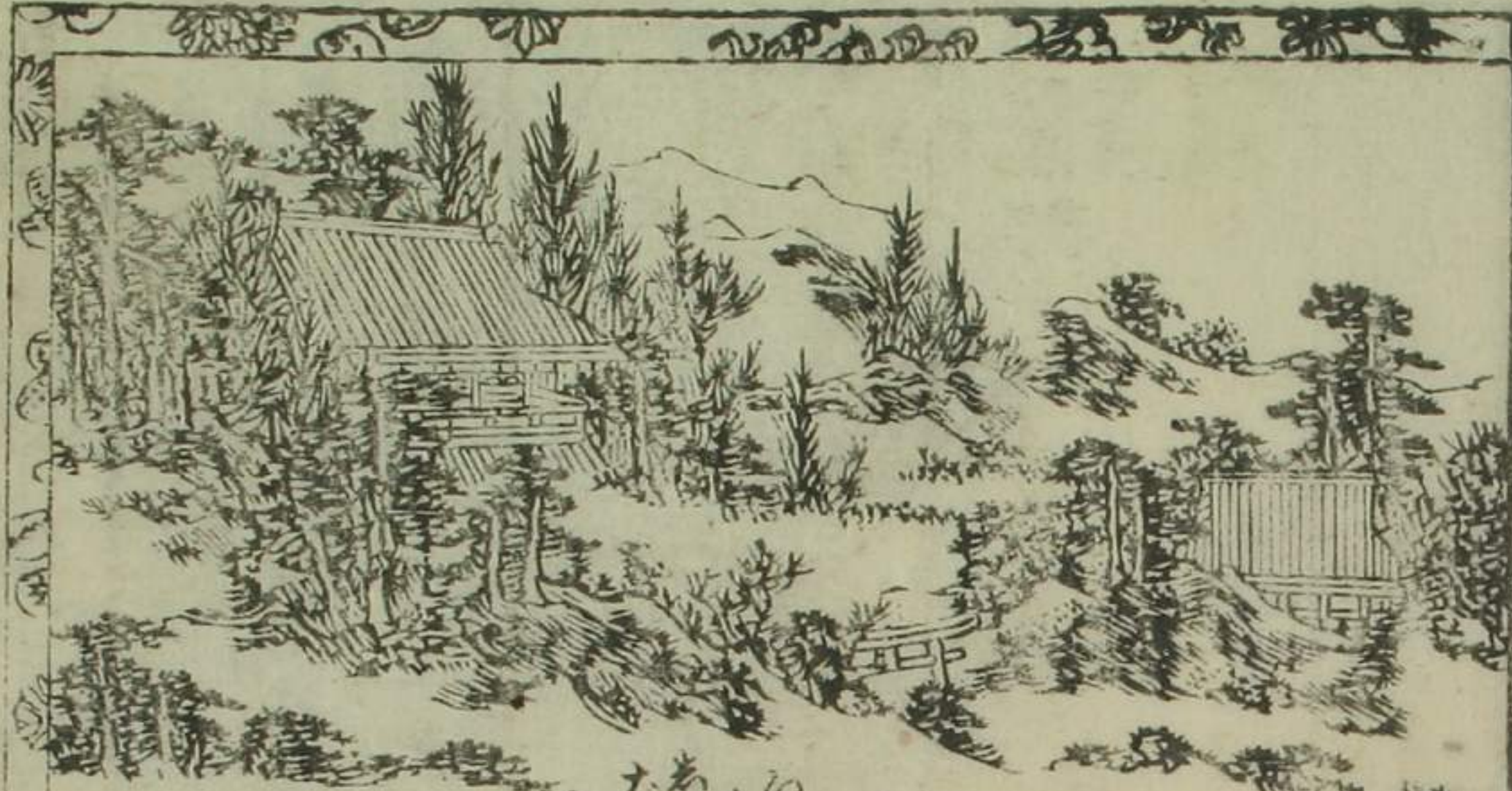
八十五

社柿鳴高濃國岩
本山産角郡美見

鳴高の岩見
濃郡の美見
角産の柿本
山産の本



鳴高の岩見
濃郡の美見
角産の柿本
山産の本
鳴高の岩見
濃郡の美見
角産の柿本
山産の本
鳴高の岩見
濃郡の美見
角産の柿本
山産の本



鳴高の岩見
濃郡の美見
角産の柿本
山産の本
鳴高の岩見
濃郡の美見
角産の柿本
山産の本
鳴高の岩見
濃郡の美見
角産の柿本
山産の本

